

野鉄工機の型紙データ

臺灣鐵路局 35TP32700 型通勤客車

野鉄工機の型紙をお求め頂きありがとうございます。

・型紙の特徴

本品型紙は、鉄道模型を製作される際の参考となるよう、必要なケガキ線を素材に印刷するための線画データ、及び解説文のデータです。本品だけで完成させることはできません。素材となる用紙、床板、雨樋や窓ガラス、屋上機器や床下機器などの各部のディテール製作用の素材、塗料、工具などを、必要に応じて別途御用意下さい。

・想定している印刷用紙

本品は、主要部分について厚さ 0.3mm 程度のケント紙に印刷して製作することを想定して設計しています。なお、窓のサッシについては、より薄い用紙を使用する、または窓ガラス側に塗装等で表現する方が良好な仕上がりとなる場合もありますので、適宜御選択下さい。

・本品の部材の構成

本品に含まれるデータは、車体部分の構成部品のケガキ線です。側板は 2 枚重ねで窓枠等のディテールを表現し、うち外側の部材は左右の側板と屋根を一体として折り曲げて車体形状を構成します。妻板は 2 枚重ねで、妻板を接着することで車体幅や屋根部分の曲面形状を保持します。車体本体以外の、雨樋、屋上の通風器、床板及び床下機器、台車、貫通幌などの部品は含まれませんので、別途御用意下さい。

・本品の製作時期

本品の元データは、1997 年に、写真を元に原寸手描きで製作したものです。当時の資料や制作環境、設計精度の制約により、寸法や記載内容に不正確な点がございます。特に、本品の車体幅は日本国鉄の一般形客車に合わせて設計していますが、実車はもう 100mm 位幅広とみられます。悪しからずご承知置き下さいませ。

・模型のプロトタイプ（実物）に関する補足事項

2020 年現在、本品のプロトタイプとなった通勤客車は営業用としては使用されておらず、事業用車両に転用されたものが残っているようです。



！注意

本品は、鉄道模型の知識の無い方には適しません。各種工具や塗料、接着剤などを使用される際は、それぞれの説明書を良くお読み下さい。

配布元：野川電鉄アーカイヴ <http://ww36.tiki.ne.jp/~lingnoga/>
連絡先：野川 lingnoga@wing.zero.ad.jp [twitter:@noga_den](https://twitter.com/noga_den)
データ作成 2020 年 5 月 16 日

台湾鐵路局35TP32700型通勤客車

1997 野鉄工様

1959年に日本の東急車輛で製造された、台鉄初の通勤用車輦。同系の急行車は35TPK32700。翌年に日本の近畿車輛で作られた35TP-TPK32770、61年に富士重工業で作られた35TP32800の部も同じ車体を持つ。室内はロングシートで、西部の通勤輸送に活躍したが、電車導入により、現在はローカル運用や、代用行李車(荷物車)に使用されている。

塗色

前-国鉄色(青5号)より車体の強い、青20号より明るい青。

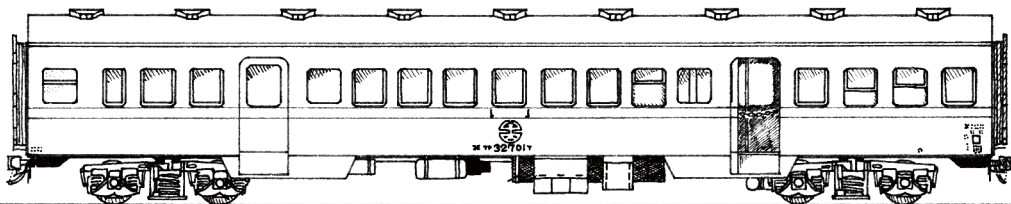
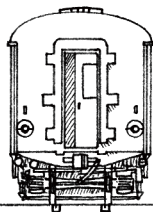
帯・表記は白。

室内は灰白色。シート(ビニルクロス)は明るい緑。

屋根はライトグレー+汚れ。

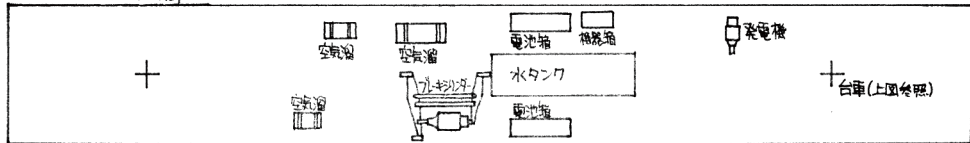
下廻り黒。

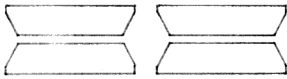
窓はアルミサッシ。戸は黒か灰色。



床下機器配置図 (1/150 縮尺)

TPK: 車中室側 TP: 便所側





▲ステップの裏打ち



注意点 (車体組立)

外板の窓間は全てRがついて
います。極小径の丸ノミヤ、サファイ
サーの厚塗りなどで表現して下さい。
35TPK32700を作る際は車中室
(車掌室)わきの窓は狭幅です。
妻板内板のすずは垂れ結露にあたり
ますので適当に切除して下さい。
屋根のRは日本型の軽量客車とほぼ
同様です。鉛板屋根ですので雨樋
は細いものです。φ0.3mm 真鍮線等
をご使用下さい。ステップ裏打ち
上端にそびえて角材を盛せば丁度
良い様になっています。貫通樫は
緩衝機内側の大型です。市販パーツを
一部切除の上、枠を貼りつけて取り付
けて下さい。

塗料

鉄道第一号車の鉄色、JTB CanBooks。
貫通樫型意味 No.590(1994.10)

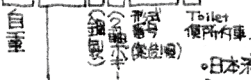
『台湾鉄道傳奇』洪致文 台湾時報文化出版
ISBN 957-13-0508-1 NT\$480.

台車

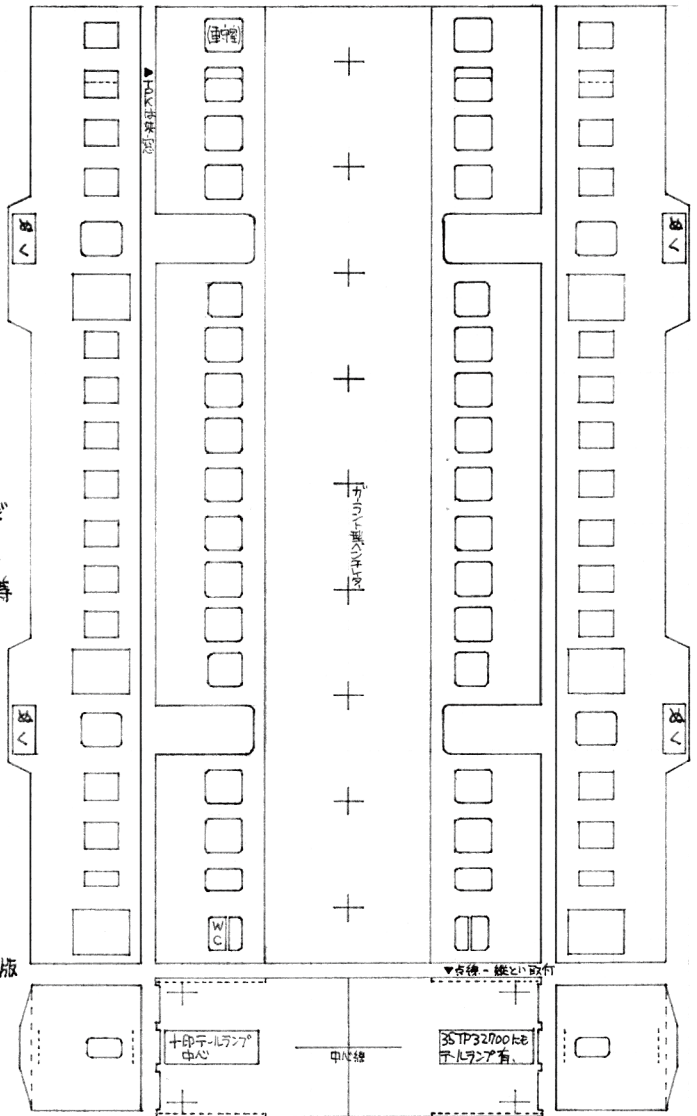
KATO製 TR58 (121-153・1181系)がS
トーションバーを削り取るとかなり似ます。
TR62/201あたりの流用が簡単です。
ステップに当たるので適当な取付位置
を変えたり削ったりして下さい。

形式番号

35TPK32712T

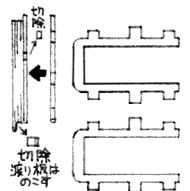


T: Third 3等車
P: Passenger 旅客車
K: Brake 緩急車



○本品のほか必要なもの

- 床板 床下機器 接着剤
- 台車 垂れ結露 塗料(車体青, 帯白, 屋根灰)
- 貫通樫(2ヶ) 床下 裏, サッシ 銀)
- ガラス型パネル(9ヶ) 窓ガラス
- 円板右千ランプ(4ヶ) ランプ用品
- 雨樋材
- 補強材(角材 板材)



△注意
各工具・塗料・接着剤等の取扱説明書はよく読み、事故のないよう使用して下さい。また、換気・火気には十分に注意下さい。